

平成 28 年 6 月 23 日

「新オレンジプランの推進」に対する取り組み状況および課題

公益社団法人 日本歯科医師会

常務理事 高野 直久

【取り組み状況】

< 認知症に関する日本歯科医師会の動き >

- 平成 27 年 1 月 日本歯科医師会地域保健委員会において、「歯科における認知症対応について」を作成した。
- 平成 27 年 5 月 日本老年歯科医学会が「認知症患者の歯科的対応および歯科治療のあり方：学会の立場表明」を公表した（6月に修正版を公表）。
http://www.gerodontology.jp/publishing/file/guideline/guideline_20150527.pdf
- 平成 27 年 7 月 日本老年歯科医学会が認知症患者における歯科診療ガイドライン作成のために実施したアンケート調査（クリニカルクエスチョン（CQ））に日本歯科医師会が協力した。
- 平成 28 年 3 月 歯科医師、薬剤師、看護師および急性期病棟従事者等の認知症対応力向上研修教材開発に関する研究事業（平成 27 年度厚生労働省老人保健健康増進事業）において、歯科医師認知症対応力向上研修プログラム（テキスト・DVD/監修：厚生労働省老健局総務課認知症施設推進室）が完成し、日本歯科医師会も作成に参画した。
- 平成 28 年 4 月 日本医療研究開発機構（AMED）において、認知症患者における歯科診療ガイドラインの作成に関する研究事業が、日本歯科医師会、日本老年歯科医学会のメンバーを中心に開始された。

【7つの柱】

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発およびその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視

【課題】

- ・ 認知症対応力向上研修等を受講する歯科医師の増加 ①②③
- ・ 認知症対応力向上研修等を終了した歯科医師の周知 ①②③
- ・ 各都道府県における認知症対策会議等の進捗状況 ①②③
- ・ 歯科医療の特殊性（予約診療や可撤性義歯など）による早期発見をどのように何処へ繋ぐかのシステム確立 ①②③
- ・ 地域包括支援センターや認知症サポート医，関連職種と歯科との連携不足 ②③
- ・ 後期高齢者・在宅要介護者・施設入所者等への歯科健診の活用・充実 ①②③
- ・ 地域ケア会議等への歯科職種の参加率向上 ①②③④⑤
- ・ 認知症患者の歯科治療の相談窓口等の設置 ②③④⑤
- ・ 関連学会等との連携およびガイドラインの作成 ⑥
- ・ 各都道府県における認知症家族会や関係者との協議会の設置及び歯科職種の参加率向上 ⑦

【その他課題】

- 認知症対応力向上等の研修会に参加する歯科医師の数値目標について
- ・ 「新オレンジプラン」の計画期間（2025年まで）と介護事業計画（2017年末）と目標値設定（目標値期間のずれ）
 - ・ 「新オレンジプラン」における対応力向上の歯科医師数の数値目標の設置
 - ・ 認知症対応力向上かかりつけ医およびサポート医と、認知症対応力向上研修等受講歯科医およびかかりつけ歯科医との地域における連携や役割の整理